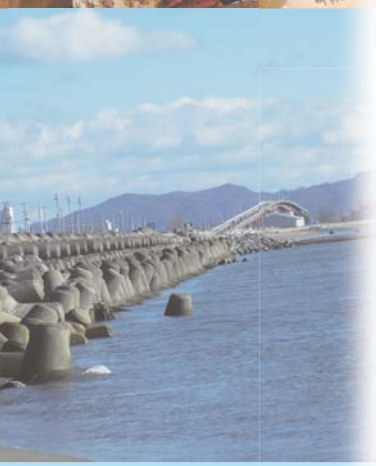
地震と津波で壊滅的な被害を受けた、石巻市門脇・南浜・雲雀野地区の
「人とコミュニティの再生」を6年半にわたって撮影した
長篇ドキュメンタリー映画

まだ見ぬまちへ

石巻・小さなコミュニティの物語

震災前のこの地域にはどんな暮しがあったのか。住民が語る“わがまち”の記憶。



製作：映画「まだ見ぬまちへ」の会／青池組

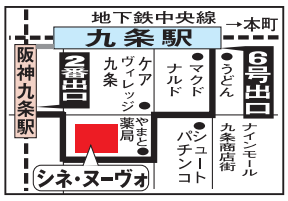
監督：青池憲司

シネ・ヌーヴォ

◎シネ・ヌーヴォ　3月10日(土)～3月16日(金)10:40

◎シネ・ヌーヴォX　3月17日(土)～3月23日(金)11:30
3月24日(土)～3月30日(金)14:20

料金：一般 1,700円　学生 1,400円　シニア 1,100円　高校生以下・会員 1,000円



シネ・ヌーヴォ
地下鉄中央線「九条駅」6号出口徒歩3分
阪神なんば線「九条駅」2番出口徒歩3分
TEL.06-6582-1416
http://cinenouveau.com/

被災直後から寄り合って暮しはじめた人びとが、失われた地に「新しいコミュニティ」をつくりだすプロセスを見つめる。

この映画は、地震と津波で壊滅的な被害を受けた、宮城県石巻市門脇・南浜・雲雀野地区の「人とコミュニティの再生」を6年半にわたって記録した作品です。

映画は人びとの、コミュニティづくりのプロセスを見つめます。居住環境が整わない地域の暮しをどう活きるか？ 高齢者のケアは？ 新しい住民とのコミュニケーションは？ かたちが見えてきたまちへの期待と不安？

映画は、3月11日以前の地域の姿も見つめます。震災前のこのまちにはどんな暮しがあったのか。住民が紡ぐ“わがまち”の記憶。

本作品は、一被災地の非常時のコミュニティ活動の記録であるとともに、そのテーマは、ふだんの地域社会づくりに通じる普遍性をもっています。

門脇町・南浜町・雲雀野町について

東日本大震災以前の3町は、住宅、商店、小学校、保育所、事業所、病院などが混在するエリアでした。世帯数1772、人口4423人。津波で356人が亡くなり、142人が行方不明です。家屋の大破をまぬがれたのは10世帯のみ。門脇町2丁目～5丁目は土地区画整理事業で「新門脇地区」になります。事業面積23.7ヘクタールの区域に250戸分の宅地が整備され、復興公営住宅151戸と合せて401世帯、人口1070人が想定されています。南浜町と雲雀野町は居住不可地区となり「石巻南浜津波復興祈念公園」が造られます。地区の東西を走る八間道路は幅37.5m、高さ3.5mの高盛土道路になり、その北側が新門脇地区、南側が復興祈念公園です。

『まだ見ぬまちへ～石巻・小さなコミュニティの物語～』
（上映時間2時間25分 Blu-ray／DVD）

製　　作：映画「まだ見ぬまちへ」の会／青池組
編集／構成＝村本勝　　撮影＝一之瀬正史
整音／録音＝黄永昌　　音楽＝原公一郎
撮影／録音＝山田武典　　広報＝金原雅彦
語り＝黒田福美　　監督／製作＝青池憲司

E-mail：kinoakcitta@gmail.com
公式サイト：http://aoikegumi.shinsaihatsu.com/
Facebook：http://www.facebook.com/aoikegumi
製作協力：いしのまき 記録映画づくりを応援する会
公式サイト https://www.ishinomakieiga-ouen.com/